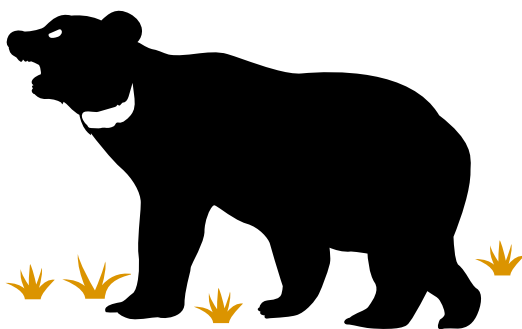


クマ出沒に



注意



ブナの大凶作により出沒が増える恐れがあります

市内では、山間部を中心に、耕作地や市街地の近くにもクマが出沒しており、本年度はすでに119件（8月末現在）確認されています。市内に生息するツキノワグマは、本来臆病で警戒心が強い性格のため、人を避けるように山中で生活しています。しかし、山の餌が少なくなる夏や、秋の重要な食物であるブナ等の木の実が不作のときには、食料を求めて人里に近づくことがあり、農業被害や人身被害につながる可能性があります。特に今秋は、夏に行われたブナの開花状況調査の結果から、県内においてブナが大凶作と予想されており、注意が必要です。

そのほか、中山間地域の過疎化によって手入れされなくなった里山や、耕作放棄地の増加なども、クマが人里に近づきやすくなる一因と考えられています。放置された農作物の管理や、やぶの草刈り等、クマを寄せ付けない環境づくりに地域で取り組むことも大切です。

山や森林などに掛ける人も多い秋の行楽シーズン。クマに関する正しい知識と適切な対策を身に付けて、被害を防ぎましょう。

特集③

クマによる被害防止のためにできること！

専門家の方にお話を伺いました



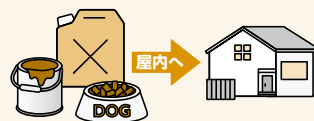
株式会社地域環境計画
野生生物管理部
吉田 淳久さん

仙台は山から市街地に樹林帯がつながっているところが多く、クマが人間の生活圏に近づきやすい環境があります。ただ、人を攻撃するのは防衛のためであることがほとんど。クマの生態を知り、適切な対策をとることが重要です。

クマを寄せ付けないために

■クマの食料となるものをなくそう

- ・果実や野菜の収穫は早めに行う
- ・廃棄野菜や生ごみの管理を徹底する
- ・ペットフードや燃料油は外に放置しない



■クマが身を潜められない環境にする

クマが身を隠せる雑草等を刈り、見通しを良くしましょう



クマに出合わないために

■山や川沿い等を歩く際はクマに人がいることを知らせる

- ・クマ鈴やラジオを持ち歩く
- ・できるだけ1人ではなく、複数人で会話しながら歩く



■クマの隠れられそうな場所の近くはできるだけ避ける

雑草や木が生い茂ったやぶに身を潜めていることがあります

■早朝や夕方特に気を付ける

クマは薄暗い時間帯に活発になります

■クマの出沒情報を確認する

クマに出合ってしまったら

■クマが遠くにいる場合

- ・クマが去るのを待つか、静かに離れる
- ・クマがこちらに気付いたら、刺激しないように声を掛け、静かに立ち去る



■クマが近づいてきたら

車や建物に逃げ込むか、ゆっくり後ずさりして離れましょう

■クマに襲われてしまったときは

両手を首の後ろに回しうつぶせになり、致命傷を防ぎましょう



△絶対してはいけないこと

- ×大声で叫ぶ
- ×背中を見せて、走って逃げる

出沒情報はこちらをチェック

■クマ出沒情報マップ

「せんだいくらしのマップ」で目撃された場所を確認できます。詳しくは市ホームページをご覧ください

■仙台市LINE公式アカウント

友だち追加をして受信設定から「クマ出沒」を選択すると、クマ出沒情報が通知されます

この特集に関するお問い合わせは、
環境共生課 ☎214・0013、
FAX214・0580

